

## News & Information

---

2009/1/1

〔年始のご挨拶〕

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は皆様よりご支援、ご厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本年も投資家の皆様にご満足頂けるIR活動を心がけてまいりますので、何卒宜しくお願  
いいたします。

年頭にあたり、当社会長・社長よりご挨拶を申し上げます。



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

新年にあたり、一言ご挨拶を述べさせていただきます。

現在弊社で行っている研究はいずれも実用化までの道筋が立っており有望であります。特にPC-SODは特発性間質性肺炎、及び潰瘍性大腸炎を対象とした第二相臨床試験で有効性が確認され、ライセンスアウトと第三相臨床試験の開始に向け、順調に進んでおります。また産学連携で共同研究を行っている熊本大学での基礎研究により、現在は注射剤で開発しているこの医薬品が飲み薬としても開発可能であることが発見されました。注射剤に比

べ飲み薬は使いやすく、大きな市場を獲得することが期待されます。PC-SOD 以外でも、AS-013 や SRG など水島裕が残した医薬品の開発は順調に進んでおります。また副作用の少ない抗炎症薬や HSP 誘導作用を持つ化粧品など、私が行ってきた研究の実用化も急ピッチで進んでおります。このように社員全員が一致団結して医薬品開発に取り組んでおりますので、是非今後とも株主の皆様のご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

取締役会長 水島 徹（写真：右）

新年明けましておめでとうございます。

旧年中に皆様から賜りましたご支援、ご厚情に対し、深く感謝申し上げますとともに、新しい年の門出にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年6月の社長就任以来、「信頼回復」を優先課題ととらえ、創薬事業ならびに EIP 事業に専心するとともに、できる限りの情報開示を心がけてまいりました。

2009 年は、長年に亘り独自に開発を進めてきたパイプラインのライセンスアウトに向けた取り組みを一層活発化させ、具体的な成果を挙げることで、新薬を待ち望んでいる患者様のもとへ一刻も早く新薬を届けられるよう全力で取り組みます。また EIP 事業においても打錠障害による問題を EIP 杵・臼で1件でも多く解消するとともに、EIP 技術の特性を活かすことで打錠障害以外の様々な問題解決に EIP 技術を広めてまいります。

まだまだ真の信頼回復には至っておりませんが、「牛の歩みも千里」という喩えのように、これからも一步一步努力を怠らず、本業に専念することで、皆様に少しでも幸せをお届けできますよう、全社一丸となって取り組んでまいります。

本年も LTT バイオファーマグループを宜しく申し上げます。

代表取締役社長 鈴木 巖（写真：左）